

衆議院議員立候補者

# 寺田学

## 政治不信に 決着をつける。 そして、政治を 大きく前進させる。

いまの政治を変えたい。  
そして大きく前進したい。

今回の選挙は、自民党の信任を問う選挙です。

本当に、自民党は変わったのか。

本当に、自民党は責任をとったのか。

今、それが問われています。

国民の信頼がなくては政権を担えない、まっとうな政治を取り戻したい。

国会に緊張感を、政治に信頼を取り戻すために、政治不信に決着をつけたい。

皆さん、お力をお貸しください。

信頼を失った政治を変えるために。

課題が山積する秋田と日本の未来を引っ張っていく

強い政治をつくるために。

証紙

手話通訳あり

<b>寺田学</b> <b>個人演説会</b>	<b>10/18</b> <small>金</small> 午後6時 <b>勝平コミセン</b> <small>新屋松美ガ丘東町10-10</small>	<b>10/19</b> <small>土</small> 午前11時 <b>秋田テルサ</b> <small>御所野地藏田3-1-1</small>	<b>10/19</b> <small>土</small> 午後4時 <b>新屋日吉神社会館</b> <small>新屋日吉町10-67</small>	<b>10/20</b> <small>日</small> 午後1時 <b>アルヴェ</b> <small>多目的ホール</small> <small>東通仲町4-1</small>	<b>10/21</b> <small>月</small> 午後1時 <b>雄和体育館</b> <small>雄和妙法字上大部95-1</small>
<b>10/21</b> <small>月</small> 午後6時 <b>いーぱる</b> <small>東部市民サービスセンター</small> <small>広面字釣瓶町13-3</small>	<b>10/22</b> <small>火</small> 午後1時 <b>河辺体育館</b> <small>河辺和田字上中野186</small>	<b>10/22</b> <small>火</small> 午後6時 <b>外旭川コミセン</b> <small>外旭川字四百刈76</small>	<b>10/23</b> <small>水</small> 午後6時 <b>東地区コミセン</b> <small>広面字鬼頭38</small>	<b>10/24</b> <small>木</small> 午後6時 <b>なんぴあ</b> <small>南部市民サービスセンター</small> <small>御野場1-5-1</small>	<b>10/25</b> <small>金</small> 午後6時 <b>港北コミセン</b> <small>土崎港北3-7-9</small>

# 政治不信に決着をつける

## ✓ 自民党は本当に責任を取ったのか。

裏金疑惑をかけられた議員は誠心誠意説明を尽くすことが最低限の責務です。私が責任者を務めた政治倫理審査会で再三出席を求め、回答は「説明する必要はない」。テレビカメラは入れないでほしい、記者たちの同席

は認めないでほしい等の抵抗をした挙句、ようやく数名の議員が弁明したものの、何を聞かれても「覚えていない」「事務局長に任せていた」「秘書が行ったこと」と逃げ続け、説明責任は全く果たされませんでした。

## ✓ 自民党は本当に変わったのか。

総選挙に際し、石破総理は裏金議員の一部を「非公認」とするなど、厳しい対応を下したと胸を張っています。本当に自民党は変わったのでしょうか。そもそも、なぜ、裏金議員全員を非公認としないのでしょうか。党の甘い判

断で、裏金額が500万円以下の裏金議員はそもそも処分すら受けていません。言い換えれば、年100万円までは裏金を作っても処分せず、選挙で公認してお墨付きを与えるのが、今の自民党ということです。

## ✓ いまこそ選挙でケジメをつける。

皆さんの声を背負って自民党と向き合ったものの、野党だけでは、自民党の驕りを正すことは出来ませんでした。本当に情けなく、悔しい想いです。今回の選挙は、自民党の信任を問う選挙。本当に自民党は変わったのか。到底

そうは思えません。この選挙で政治不信に決着をつけ、国会の緊張感とまっとうな政治を取り戻したい。課題が山積する秋田と日本の未来を引っ張っていく強い政治をつくるために、どうかお力をお貸しください。

# 政治を大きく前に進める

## ✓ 地方の、秋田の成長こそ大事

### 秋田の力を活かす

秋田独自の観光資源と産業を活かし、災害に強いインフラ整備で、秋田の持つ力を最大限に発揮します。

### 減税により内需を活性化

税の集め方と再分配を見直し、大胆な負担減と個人消費中心の内需活性化で、十分に稼げる環境を整備します。

### 公平・公正な市場を作る

公正取引委員会の持つ市場の番人機能の強化で、中小・零細企業にとっても自由で公正な市場経済を築きます。

## ✓ 暮らしの安心を保障

### 安心の年金・医療・介護

安心して歳を重ねられる持続的な年金制度への改革を急ぎます。安心安全の地方の医療・介護体制を確保します。

### セーフティネットの充実

給付が必要な方の情報を総合的・迅速に把握してプッシュ型（申請不要）で給付を行うシステムを構築します。

### 必要な支援を守る

保育・介護・福祉の現場で働く人の大幅な賃金向上で離職を防ぎ、要支援者とその家族をしっかりと支えます。

## ✓ 成長実現のための若者支援

### 物価高に負けない手取り増

社会保険料負担を減らすなど大胆な支援と、子どもの数に応じた年金給付の増額で、将来不安を解消します。

### 教育費の負担軽減

高等教育無償化、返済不要の給付型奨学金への転換、返済中の奨学金は限度を決めるなど負担軽減を図ります。

### みんなに働く喜びを届ける

就職氷河期世代、引きこもりなど、多様な働きづらさを抱える若者を支援し、社会の担い手を増やします。

## 子育て世代の一人として、日々奮闘中！



### 息子が小学5年生になりました。

学校帰りの表情がなんとなく曇っているな、友達とはなじめているだろうか。子育ては悲喜こもごも、喜びと大変さとが絡み合っています。子どもたちが社会に羽ばたくときにどんな能力を身につけていたらいいいのか、子どもと向き合う日々の中で考えるからこそ、強い想いが湧いてきます。この子たちが大人になった時の秋田と日本を思い描きつつ、日々の子育ての実感を法律や制度づくりに活かしています。



**プロフィール** / 横手市生まれ。横手高校、中央大学を卒業後、三菱商事に入社。2003年、衆議院議員に初当選(通算6期)。総理大臣補佐官、外務、財務金融、法務委員会筆頭理事、政治倫理審査会の筆頭幹事を歴任。小学生の息子と妻の3人家族。秋田市の大雨被害救済から不登校児対策まで、秋田と日本の為に努力を続けています。

